

## 第 21 回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合

### リコメンデーション(仮訳)

我々、ASEAN の保健、社会福祉及び労働分野の参加者は、中国及び韓国を含むオブザーバー国、国際機関、地域の関係機関、そしてパートナーからの参加者の同席を得て、「地域で生き生きと自分らしく暮らせる社会の実現に向けて」をテーマに 2023 年 11 月 28 日から 30 日まで大分県で開催された第 21 回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合において、

#### 前文:

本会合を 2003 年から毎年開催している日本政府の継続的なイニシアチブに感謝し、この第 21 回会合が、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(SDGs)の達成に向けた包摂的社会を促進するための保健、福祉及び労働セクターのステークホルダーの役割について、知識の共有及び意見交換を行う効果的なプラットフォームを提供していることを認識し、

アジアの人口は急速に高齢化が進行しており、高齢化に伴う心身の能力が低下するリスクが高まっていることを再確認し、

一人一人が年齢を重ねても自分らしく、生き生きと暮らせる社会の構築が大きな課題の一つであり、生涯を通じてその人の能力を最大限に引き出すためには、心身の能力を維持・強化することが前提条件であることを認識し、

大分県、別府市、デイサービス楽(株式会社ライフリー)、Green ガーデン南大分(社会福祉法人大翔会)、社会福祉法人太陽の家を含む官民の様々な取組により、年齢や障害の有無にかかわらず、一人一人が地域社会で自分らしく健康で、生き生きと暮らせるよう支援していることを確認し、

ASEAN 諸国の政治的、経済的、社会文化的背景は日本と異なる多様性があり、高齢者を含む全ての人々が地域社会で生き生きと暮らせる社会を実現するためのアプローチは、地域の状況を考慮する必要があることを認識する。

我々、会合の参加者は、以下のリコメンデーション(提言)について一致した。

1. 高齢者の社会参加の重要性と、フレイル予防や介護予防、生活の質の向上を含む健康増進への好影響を再確認する。

2. 高齢者の身体的、精神的な能力をコミュニティレベルで維持・強化し、公的、私的、宗教的、地域的なサービス提供者と緊密に連携し、生涯を通じて高齢者の潜在的な能力を最大限に発揮することを目的とした、エビデンスに基づく政策を策定・実施する。
3. 職場での総合的な健康とウェルビーイングの重要性を認識し、従業員の健康増進を目的とした政策やプログラムの開発を推奨する。
4. 活動的な高齢化と社会経済に関するデータを含む健康関連の年齢別データを国及び地域レベルで収集することや、高齢化や福祉に関する政策・プログラムの成果や有効性の分析を支援しつつ、懸念点や課題、そして機会をより良く理解すべく地元や地域当局との協議を促進する。
5. 介護施設における福祉機器・技術の利用を促進し、介護者の身体的負担を軽減し、労働生産性を向上させ、高齢者に対して質の高いケアを提供する。
6. 介護者とサービス提供者との情報や好事例の共有の促進を奨励する。
7. 身体的障害、知的障害、精神障害、発達障害のある人々が抱える懸念事項を取り入れ、能力が年齢とともに低下する可能性があることを念頭に置き、すべての人が生涯を通じて生き生きと暮らせるような政策とプログラムを開発する。
8. あらゆる年齢の人々が能力に関係なく、地域で自分らしく生き生きと暮らせるように、社会福祉、保健、労働、その他の関連部門間の協力と調整を強化する。
9. ASEAN+3(日中韓)各国、ASEAN 事務局、WHO、ILO、ERIA、JICA、その他関係する国際機関、地域機関及び開発パートナーとの分野及び組織横断的な協力の推進により、健康で活動的な高齢化に向けて、各国間及び各国内において社会福祉、保健、労働の各分野の知識、経験、好事例、技術、社会的イノベーションの共有を強化する。

更に、参加者は以下について一致した。

- i. 今回の第 21 回会合の議事及び結果は、各国の担当閣僚や幹部に報告し、関連する ASEAN の部門を通じて、地域及び各国のプロセス、政策、規制、社会経済状況に従い、上記提言を実施するための検討及び適切な行動を取る。
- ii. 日本は、ASEAN 事務局と協力し、本会合の議事内容及び結果を ASEAN+3保健大臣/高級事務レベル会合(AHMM+3/SOMHD+3)、ASEAN+3社会福祉大臣/高級事務レベル会合(AMMSWD+3/SOMSWD+3)、ASEAN+3労働大臣/高級事務レベル会合(ALMM+3/SLOM+3)に報告する。

以上